

半導体産業を物流面で支える

日本通運株式会社と立地協定締結

町は5月19日、県を立会人として、日本通運株式会社(東京都)と事業所増設に関する立地協定を結びました。

同社は半導体産業の活性化に伴う物流需要の高まりに対応するため、町内にある既存倉庫の隣に新たな倉庫を建設します。7月に着工、令和6年3月に操業開始を予定しています。

協定に際し、坂田道治執行役員は「シリコンアイランドの復活、半導体製造の国内回帰の動きに対して物流面から貢献したい」と述べました。



県庁で行われた立地協定調印式。中央が坂田執行役員



協議会委員の松野さんと山本さん

地域住民と警察の架け橋に

御船警察署協議会委嘱状交付式

御船警察署で6月5日、御船警察署協議会委嘱状交付式が行われました。

警察署協議会は、警察署が、警察の業務について地域住民の要望・意見を伺い、業務運営に反映させるとともに、警察の仕事の進め方について説明し、その理解と協力を求めることを目的として設置されたものです。

協議会委員は6人で、今回、益城町を代表する委員として、松野良子さん(市ノ後)と山本広文さん(広崎4町内)に委嘱状が交付されました。

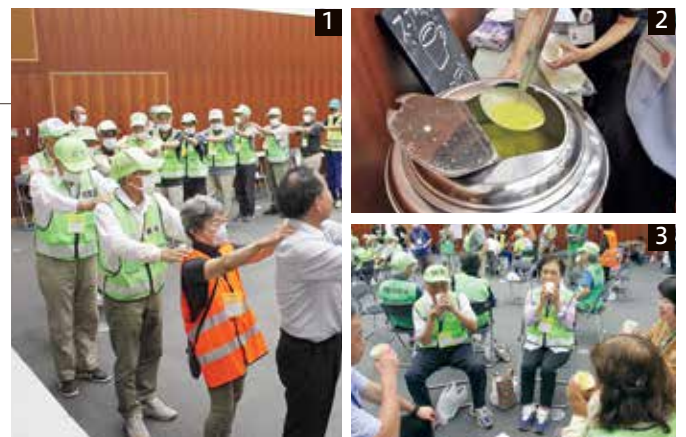
「あつまれ見守りボランティア」開催

小中学生の登下校見守りボランティアの交流会

交流情報センターミナテラスで6月14日、「第2回益城町あつまれ見守りボランティア」が開催されました。

これは、町内小中学生の登下校見守りボランティアの交流とねぎらいのために同実行委員会が企画したものです。

御船警察署梅田健太郎交通指導係長の交通指導講話、小学校長・教頭を交えた各学校区ごとの意見交換、理学療法士吉住慶太さんの音楽を使ったエクササイズが行われた他、参加者全員で童謡「故郷」を合唱し、皆さん終始和やかな雰囲気の中で交流を深めていました。



1 音楽に合わせてエクササイズ 2 3 休憩にはスープのふるまいも

Pickup Plus +
今月のプラス



町は6月5日、熊本国際空港株式会社とサントリーグループの3者によるペットボトルの「ボトル to ボトル」水平リサイクル推進に向けた連携協定を結びました。今回の協定により、阿蘇くまもと空港で回収したペットボトルを原料として、新たなペットボトルとして再生する「水平リサイクル」事業を協同で推進します。